

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	16番 森山 善友議員	20分	1 大口小学校の太陽光発電の現況について	(1) 発電量と使用割合、使用内容について (2) 売電量と金額について (3) 今回までに要した修理代等の経費について (4) 今後の運用課題について	市長	
			2 曾木の滝小水力発電について	(1) 発電量、売電量は計画通りなのか。 (2) 計画時と現時点での財政的、イメージ的なものに変化はないか。	市長	
			3 伊佐市の新エネルギーへの取り組みについて	(1) 旧大口市で風力発電が検討されたことがある。年間を通した風量等の問題で実現しなかったが、その時の経緯について伺いたい。また現在は、技術も向上し、少量の風量でも発電できると聞くが、再度検討はしないのか。 (2) 世界的に新エネルギーへの取り組みがなされている。伊佐市で取り組むなら、どのような新エネルギーが考えられるか。	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	14番 福本千枝子議員	40分	1 虚弱な高齢者の対応策について	介護認定を受けていない虚弱な独居老人の把握はされているのか。不慮の怪我や疾病で自宅での生活が困難となるケースが多いと聞く。そのことで民生委員の負担になっていないか。買い物、食事、通院など市独自のサービス支援は出来ないか。	市長	
			2 竹林の整備について	かつて補助事業で竹林整備された経緯があるが、現在の状況はどうなっているのか。日本産のタケノコの需要が多く、特に12月から1月の早掘りは、高値がつく。農家の所得向上につながると考えるが、市長の見解を伺う。	市長	
			3 活気ある伊佐市をめざして	合併して2年9月となるが、合併前のすり合わせ事項も順調に推進されている。商店街の活性化として、今年の夏祭りも多くの市民が参加して賑わったが、5年目の節目として新しい市歌の検討や夏祭りの音楽など、小学生から高校生そして若者が集う夏祭りに変えていくべきと考えるが、市長の見解は。	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	6番 畑中 香子議員	40分	1 中学校再編について	(1) 中学校を統廃合することで、子どもにとってどのようなメリットがあるのか。 (2) 協議会は初めから統合で決まっているのか。保護者の意見や反対意見は協議されるのか。 (3) 是非を含めて、初めから協議するべきではないか。	教 育 長	
			2 宮人地区の水害について	(1) 7月の豪雨で宮人消防詰所は浸水し、付近の道路も冠水したが、消防詰所の立地場所について、検討すべきではないか。 (2) 宮人橋付近の市道を整備するべきではないか。 (3) 河川の整備など総合的な対策を行うべきではないか。	市 長	
			3 就学援助費について	(1) 平成22年度から交付税措置されているクラブ活動費、PTA会費、生徒会費支給対象に加えるべきではないか。	教 育 長	
			4 子ども、子育て新システムについて	(1) 新システムの導入で、市内の保育所にどのような影響を及ぼすか。 (2) 発達障害児などが、保育所に入所できなくなる恐れがでてくるのではないか。	市 長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発 言 者	発 言 時 間	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	21番 植松尚志郎議員	20分	1 観光について	<p>曾木の滝は東洋のナイアガラとして有名だが、24年度に小水力発電ができる。</p> <p>現在、国民は原発に対し危機感をもっているだけに、研修や観光客が増えると考ええる。</p> <p>一方、肥薩線は、スイッチバック等で世界遺産に登録しようということもテレビ放映があった。</p> <p>このような状況を考えた場合、隣接市町との連携をさらに深めることが、観光客を増やすと考えるが、市長の考えを伺う。</p>	市 長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	13番 柿木原榮一議員	40分	1 6、7月豪雨について 2 公園の管理について	<p>(1) 川西地区の豪雨の内水面排水は、なかなか移動ポンプでは、はけないが、性能のより優れたポンプか固定ポンプの設置は検討できないものか。</p> <p>(2) 水ノ手川の原田橋上流で同じ場所が何回か決壊しているが、構造上無理があるのではないか。どのようなものを設計予定か。</p> <p>(3) 市道後迫～園田線も3回決壊しており、同じ工法ではだめだと思うが、橋梁方式を望むが、どのような工法になるのか。</p> <p>(4) 国道267号の西本町も本年3～4回床上浸水、菓子工場も床下浸水しているが、暗渠排水路（都市計画作成時の排水路）の増水が主な原因であったと思うが、暗渠排水の排水対策は。</p> <p>(5) 都市下水路の寿司まどかからダイリョウ(有)までの赤線に平行して水路があるが、豪雨のとき水路に落ちる危険性があるので、防護柵を設置する考えはないか。</p> <p>(1) 轟公園の芝生の部分の水はけが悪く、雨の後、子どもたちが遊べない状態であり、土が固く桜の苗木等の発育が悪いが、砂の入れ替えができないか。</p> <p>(2) 小尻公園も開園してから、10年程経過し、雑草が生えるようになったが、特殊砂の入れ替えの可能性は。</p> <p>(3) 元町児童公園は、鉄棒だけで児童公園の役割を成していない。ブランコ・滑り台の設置の可能性は。多くの公園に設置してある施設の防錆・ペンキ等塗り替えの維持管理が必要であり、耐久性に問題があると思うが、どのように考えているのか。</p> <p>(4) 公園の清掃などシルバー人材センターに委託してあるが、各コミュニティにも管理委託する考えはないか。</p>	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	17番 鶴木 誠 議員	30分	1 企業誘致活動の可能性と地場産業について	<p>議員として合併前から企業誘致活動を積極的に進めるよう提言してきたが、受入体制に着手し始めた時から、世界的なリーマンショックに始まり、最近の円高に至るまでの企業の地方進出どころか、海外への進出に移行の話だけがクローズアップしてきている。しかしそのような環境の中でも県内への進出はゼロではない。本市も動きはあるものの立地まで至らない。再度本市の最近の状況を確認したい。</p> <p>伊佐市の人口減少の対策として働く場の確保、所得の向上を目指すための施策の中で、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 現在の企業誘致活動、地場産業の活性化の状況を伺いたい。 (2) 市長の情報収集の量は多いと思うがトップセールスの頻度はどの程度か。 (3) 立地企業や地場産業の活性化に対する積極度について。 (4) ポスト菱刈鉦山をどう考え、対処していくか。 	市長	
			2 まちづくり活性化活動の可能性について	<p>農家の組織活動や合併して伊佐の若者たちの活動が目立っている。「子ども達に素敵な街を引き継ぎ隊」などがそうだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 若者達の提言や行動をどう生かすか。 (2) グリーンツーリズムも一つの方法であるが伊佐市としての目指す方向を伺いたい。 (3) 野菜や換金作物の種類や普及にどう取り組むか。 	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	19番 古城 恵人議員	40分	1 県道404号線の整備を急げ	<p>(1) 曾木の滝が日本の滝百選に漏れてより、平成4年から旧大口市議会に特別委員会が設置され、「新曾木大橋」完成をめざし市、議会一体となって取り組んできた。いよいよこの11月には完成供用が開始される。また、今定例会に曾木発電所遺構や小水力発電などの自然エネルギーを学ぶ施設としての観光拠点施設が予算計上されている。このように曾木の滝公園周辺整備が進む中「新曾木大橋」につながる県道404号線は、伊佐広域農道とともに重要な道路である。しかしながら、計画着工より15年経過しながら未だに用地交渉が未解決であり、完成に間に合わない状況と聞く。</p> <p>ア 用地交渉および工事は、鹿児島県の事業であるとはいえ伊佐市にとっても「新曾木大橋」は観光のメインとなる最重要の課題でもある。伊佐市はこの件について解決にむけてどのような対応や協力をされてきたのか。協力関係ははたして築かれてきたのか。伊佐市の見解と取り組みの姿勢について伺いたい。</p>	市長	
			2 下殿自治会への市水道給水計画の進捗は	<p>(1) 平成18年豪雨災害で使用不能になった大口南中のために、この度市水道が布設された。ここから下殿自治会までは目と鼻の距離であり、伊佐市は給水希望の同意書を取られるなど調査もされたと聞いている。下殿自治会各家庭では、以前から水質が良好ではなく、川内川改修の「激特事業」の影響で井戸ボーリングされた家庭もあった。市は同意書の調査結果状況をどのように受け止めているのか。今後市はどのような対応を考えているのか伺いたい。</p>	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	7番 今吉 光一議員	20分	1 本市の住宅着工 活性化に向けた提 言	<p>体験型住宅を一つの施策として、本市は具体的な取り組みをして大変評価している。太陽光発電及び合併浄化槽の設置についても今定例議会で補正を組まれ、一つの足がかりができつつある。</p> <p>近年伊佐市内の森林も伐期を迎えている森林の規模も増加しているが、市民の財産としてある木材の需要として、市内の業者による施工と合わせて県産材を使った新築住宅について支援することで内部循環型の仕組みが構築し、伊佐の人口減の歯止めや活性化につながるのではないかと考える。</p> <p>そこで伊佐市の現状についてお答えいただき、市長の見解をうかがいたい。</p> <p>(1) 過去10年の市内住宅着工戸数 (2) 市内業者による建築件数 (3) 市内森林伐採面積の動向(分収育林・分収造林を含む) (4) 市内伐採材積の動向 (5) 森林売買の状況</p>	市長	
			2 森林施業計画から 森林経営計画に 変更したメリット とデメリット	<p>来年度より森林施業計画から森林経営計画に施策が変わることにより、これまで30haを1団地とした考え方から、林班ごとに団地を形成することで造林事業に対する支援が変わる。</p> <p>現在のところ1林班あたり50%以上にならない森林は、今後補助事業の採択から外れ、自力による管理をしなければならない。</p> <p>未だに国、県のはっきりした指針が出ていない状況で、本市として他自治体や県と一体となって何らかのアピールをしていくべきではないかと考えるが。</p> <p>(1) 森林施業計画と森林経営計画の施策の大きな変更点 (2) 森林経営計画になった場合、現在の計画から適用外となる面積 (3) 本市としての中・長期の森林管理の見通し</p>	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	4番 前田 和文議員	30分	1 市山川及び水ノ手川の災害対策について	<p>(1) 災害の内容とその原因をどのように分析、把握しているのか。</p> <p>(2) 国及び県と連携して、再発防止対策についてどのような取り組みがなされようとしているのか。</p> <p>(3) 河川改修工事、浚渫工事は予定されているのか。</p> <p>(4) 近隣地元企業の安全対策はなされたのか。</p> <p>(5) 内水揚水用水中ポンプの能力は現状に即しているのか。</p> <p>(6) 原田橋の架け替え工事を含めた抜本的対策は計画なされているのか。</p> <p>(7) 曾木分水路の取水部分の切り下げ工事は要望なされたのか。</p> <p>(8) 復旧工事進捗状況及び今後の計画について地元説明会の開催は計画できないか。</p>	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	10番 鶴田 公紀議員	30分	1 小学校再編関連について	(1) 山野西小学校廃校に伴う利活用について (2) 複式学級の学校名及び児童数は。 (3) 今後の再編計画の予定は。	市長 教育長	
			2 合同庁舎の存続対応策について	来年度に合同庁舎は全て撤退すると聞くが、その後の存続活動状況について。	市長	
			3 定住促進住宅の利活用状況について	建設後の利活用状況と定住人口の成果は。	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	18番 中村 周二議員	30分	1 まちづくり政策	<p>地域再生への挑戦 岩本悠先生の考え方を、どのようにいかすか。 先生のような人を、伊佐市に期限付きでも呼べないか。 定住であればもっと良いと思うが、市長の考えは。</p>	市長	
			2 学校の授業	<p>伊佐市の素晴らしいカヌー場を使ったカヌーの授業、またはクラブを作れないか。</p>	教育長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	15番 市来 弘行議員	35分	1 「地域情報無線」の設置促進、及び今後の取り組みについて	<p>「地域情報無線」設置に対する、熱い要望が市内各地域より寄せられている。</p> <p>その利便性、地域力の向上、地域内福祉力向上への寄与という形で、そこに住む人たちに評価され、その存在価値を高めていると考える。</p> <p>ところがその一方で、設置申請をしたいものの、負担金の捻出という面で、目途が立たず、躊躇している自治会も多くあると聞いた。今後に向けた取り組み等も含め、その進め方についてお聞きしたい。</p> <p>(1) 設置促進に向け、もう一段踏み込んだ打開策、具体策は何か考えられないか。</p> <p>(2) 現在、菱刈地区については、この「地域情報無線」につなぐ形で菱刈庁舎基地局から市からの行政、防災情報等が、日ごと住民に届けられている。一方、大口地区についてはこうしたサービスが受けられないでいる。「地域情報無線」を活用し、こうしたサービスが受けられれば、緊急時における放送等も含め、住民は大きな利便性を得る事となる。次の展開に向けた具体策を急ぐべきと考えるが、何か具体策はないのか。</p> <p>(3) 情報、通信のデジタル化に向け、近隣を含め、各自治体はしっかりとした基本計画を策定し、その推進に積極的に動いている。本市はこの課題に関して、今後どのような形で着手し、展開していく考えか。その具体策をお聞きしたい。</p>	市長	

平成23年第3回定例会一般質問

平成23年 9月13日

(1枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	12番 左近充 議員	20分	1 川内川改修について	(1) 曾木分水路、呑み口高について (2) 伊佐市での対応は。 (3) サンコーテックは平成18年と今年で、2回も浸水した。水害対策は考えられないか。 (4) 呑み口を下げれば、支流県河川の水位は下がるのではないか。 (5) 内水対策ポンプ設置について	市長	
			2 農業所得向上について	(1) 自己保全管理水田の面積はどのくらいあるか。 (2) 自己保全管理水田や耕作放棄地に、新規需要米ホールクroppサイレージ用米WCSの推進を。 (3) ホールクroppサイレージ用米の品種と、今年度の作付面積は。 (4) 早めに説明会はできないか。 (5) たばこ農家は何軒くらいになるか。やめる人達にWCSの推進はできないか。	市長	